

# 横浜市 歴史 博物館

NEWS  
号外  
2011・1

◇企画展「ウズマキかわらけの謎を解く」

—都筑区・茅ヶ崎城跡と南関東の中世城館—

◇報告：テーマ展「東海道と江戸時代の旅」

◇博物館感謝デー





## 企画展

# ウズマキかわらけの謎を解く

—都筑区・茅ヶ崎城跡と南関東の中世城館—

横浜市歴史博物館では、二〇一一年一月二十九日（土）から三月二日（月・祝）まで、企画展「ウズマキかわらけの謎を解く—都筑区・茅ヶ崎城跡と南関東の中世城館—」を開催致します。

誰でも「ウズマキかわらけって何だ？」と感じることでしょう。ウズマキかわらけとはウズマキ紋のあるかわらけのことで、またかわらけとは、使い捨ての素焼きの皿を指します。

かわらけは、平安時代以降、京都や鎌倉などの都市部において、儀式や饗応など非日常の場所できかんに使用されるようになり、やがて室町時代に幕府の武家儀礼が形を整えると、それを踏襲する各地の諸勢力、諸大名によって、独自のかわらけが創作されていくようになります。

城として機能していたのではないかということが推測されています。本展覧会では、ウズマキかわらけの出土した茅ヶ崎城跡の遺物を中心に、南関東の武士の館や城を紹介し、かわらけをはじめとするさまざまな出土遺物を見ていく中で、南関東の中世社会と戦乱について考えていきます。

（阿諏訪青美）



茅ヶ崎城出土のウズマキかわらけ。いくつものウズマキかわらけが見つかっています。



ウズマキかわらけのウズにはウズとウズの間をかまぼこ状に丸くならしているものもあります。

茅ヶ崎城跡は、早瀬川南岸に位置する室町時代の城郭遺構ですが、文献資料にはほとんど登場せず、その歴史は謎に包まれています。この茅ヶ崎城からウズマキかわらけが出土しており、さらに茅ヶ崎城の他、葛西城（東京都葛飾区）・深大寺城（東京都調布市）・丸山城（神奈川県伊勢原市）・川越城（埼玉県川越市）などの関東各地からも見つかっています。ここからウズマキかわらけは、川越城や丸山城などを拠点とした、扇谷上杉氏勢力のもとで使用されたかわらけではないかというところ、茅ヶ崎城もまた同氏の



発掘調査以前の茅ヶ崎城の様子。



# 報告

## テーマ展 東海道と江戸時代の旅



当館では開館以来、横浜地域の江戸時代を知るために欠かせない資料として、東海道や地域の神奈川・保土ヶ谷・戸塚宿に関する浮世絵、双六、屏風、絵巻、典籍、古文書などを収集してきました。これらを市民の方々に紹介し、また、博物館の資料収集活動の成果を知っていただくため、二〇一〇年十一月三日(土)～二八日(日)の二週間、テーマ展「東海道と江戸時代の旅」を開催しました。

展示室内では、屏風・絵巻でみる東海道、横浜地域の宿場、旅道具や街道の施設、名所・名物、東海道双六、明治以降の旅の展望といった構成にもとづき、東海道と宿場、旅についての基本的なことがらを紹介しました。関連事業では、通常のフロアレクチャーの他、ワークシートを解きながら進める親子向けフロアレクチャーを開催しました。

また、展示室の隣の体験学習室との連携も行いました。体験学習室では、毎年この時期に、旅道具の展示や巨大双六などが体験できる「江戸時代の旅」という体験メニューを用意しています。そこで、体験学習室の展示物が描かれた浮世絵や、巨大双六

六の原資料を企画展示室に展示したり、両会場にお互いの誘導パネルを設置したりして、両会場をご覧いただき、展示物への理解を深めてもらえるよう工夫しました。短期間の展示でしたが、目標値の一〇〇

〇人を大幅に上回る、一三二五人の方々にご来場いただきました。体験学習室も、一八五〇人の方々が利用してくださいました。会場内では、浮世絵などに描かれた場所について、「ここに行つた(または歩い



体験学習室での親子向けフロアレクチャーの様子。床面のシートが巨大双六(原資料は初代広重の「東海道遊歴双六」)。



展示室内の様子。じっくりと浮世絵をご覧になるお客様が多く見られました。

た」ことがある」と、楽しそうに展示をご覧になるお客様の姿が目立ちました。ここ数年ブームになっている東海道ウォーキングが、観覧者数増加の要因となったのかもしれない。いずれにせよ、資料収集の成果を多くのお客様にご覧いただけて、嬉しい限りです。

二〇一一年初夏には、再び収蔵資料をもとに、横浜地域と周辺の名所の展示を予定しています。ご来館をお待ちしております。  
(小林紀子)



# 博物館感謝デー

## 常設展示室

- ◆通史展示ガイドツアー(13:30~15:30)
- ◆土器パズル(終日) ◆古墳時代の鏡パズル(終日)

## 企画展示室

- ◆企画展「ウズマキかわらけの謎を解く」  
展示解説(11:00~12:00)

## 体験学習室

- ◆ちょっと昔を探してみよう展示(終日)

## 研修室

- ◆つくってみよう! 勾玉(終日 受付9:30~15:30)  
参加費:100円

## 講堂

- ◆ビデオ上映「映像でたどる昭和の横浜」(1~3巻)  
(9:30~16:30)

横浜市では戦後、神奈川ニュース映画協会の制作により、市政のPR映像を数多く作成してきました。横浜都市発展記念館ではそれらをテーマ別に編集しDVDに収録しました。感謝デーの2日間は、それらをすべて上映します。

## エントランスホール

- ◆紙芝居ひろば  
(10:30~、11:30~、13:00~、14:00~、15:00~16:00~)

出演:街頭風紙芝居なつかし亭岸本茂樹さん、紙芝居のおじさんとしょくん、

電動車いす紙芝居おじさん杉田勇さん、他

博物館から感謝を込めて、民話や昔話、そして街頭紙芝居など、さまざまな紙芝居を実演します。みんな集まれー!

## ミュージアムショップ

- ◆オリジナルグッズセール(終日)

1/29,30  
全館無料



## 横浜市歴史博物館および大塚・歳勝土遺跡公園の利用案内

### ●開館時間

午前9時から午後5時まで(ただし、入館は午後4時30分まで)  
大塚遺跡、都筑民家園を除く公園部分は24時間オープン

### ●休館日

歴史博物館・大塚遺跡 月曜日(祝日の場合は翌日)、年末年始  
都筑民家園 毎月第3月曜日(祝日の場合は翌日)、年末年始  
そのほか展示替えなどのため、臨時に休館することがあります。

### ●常設展観覧料

| 区分      | 個人   | 団体(20人以上、1人につき) |
|---------|------|-----------------|
| 一般      | 400円 | 320円            |
| 高校生・大学生 | 200円 | 160円            |
| 小学生・中学生 | 100円 | 80円             |

◆特別展・企画展の観覧料は、別に定めます。 ◆毎週土曜日は、小・中・高校生は無料です。

◆「演ともカード」「敬老特別乗車証」「愛の手帳(療育手帳)」「身体障害者手帳」「障害者手帳」をお持ちの方は無料です。

●交通案内図 横浜市営地下鉄「センター北駅」下車徒歩5分  
(「センター北駅」へは横浜駅から23分 新横浜駅から12分)



駐車場あり(1時間200円)

●インターネットホームページ <http://www.rekihaku.city.yokohama.jp/>

横浜市歴史博物館ニュース号外/2011年1月29日発行

●編集・発行 横浜市歴史博物館  
●印刷 株式会社神奈川新聞社営業局出版部



横浜市歴史博物館

〒224-0003 横浜市中区中川中央 1-18-1  
TEL.045-912-7777(代表) FAX.045-912-7781